

To the Next Stage

# 進路通信 道標

2023(令和5)年

7月号 第2号

神戸野田高等学校 進路指導部

## 進路実現と学校行事 アカシア祭 4年ぶり本格実施



令和5年度の1学期が終了します。6月16日(金)17日(土)、コロナ禍の影響で制限があったアカシア祭(テーマ:「Re→Start」)を4年ぶりに本格実施することができました。保護者や卒業生、本校の受験を考えている中学生も含め、約1200名の方々が来校されました。

講堂でのステージや各教室の催し、食堂などでの食品販売などの企画、受付やステージ係などの運営面で、生徒が中心になってよく頑張りました。**楽しむ時にはとことん楽しむ、勉強する時にはしっかりと集中する、「めりはり」のある学校生活が、進路実現につながります。**神戸野田高校は、本当に素晴らしい学校です。



## 「社会との関わり意識」を持って進路を考えよう part 2

前号の「道標6月号」で、この「社会との関わり意識を持って進路を考えよう」について、次のように述べました。

「道標3月号」のコメントに加え、皆さんに取り組んでもらいたいのは、自分の進路選択に関わるような「社会の動向」に敏感になり、進路選択に新聞やニュースの情報を役立てて欲しいことです。

例)チャットGPT「世界3億人分仕事が自動化」(5/27朝日)

右の表は、6月の「進路希望調査」の結果と2月の結果とを比較したものです。なお、1年生は今回が初めての実施となります。2・3年生は2月より「常に見ている」の割合が増加しています。各自が、どの位置にいるか確認して、今後の取組を考えてください。

新聞やニュースを見る	3年	2年	1年
・常に見ている	10.9%	6.7%	6.2%
・時々見ている	51.1%	59.6%	60.7%
・授業で指示があれば見る	30.9%	27.8%	22.8%
・無回答など	7.1%	5.9%	1.7%

### ChatGPTはオモチャじゃない。脳科学者から見て100年に一度の衝撃である理由 茂木健一郎(「プレジデント」2023.6.30)

…これまで、人間の知性がどのように成り立っているか、さまざまな理論、モデルがつけられてきた。それらのすべてが実現できなかったことを、ChatGPTが「次に来る文字は何か」というシンプルな方法で可能にしてしまったことに、多くの研究者は唖然としている。もちろん、ある程度は予想していたけれども、想定以上の機能を持ってしまった。…科学的な視点からの意義はもちろんのこと、ChatGPTのような生成AIがこれからの人類社会に与える影響は大きい。…学習やビジネスの現場では、ChatGPTを用いて情報を集め、学び、プレゼンテーション資料をつくるのが常識になる。情報の質、量ともに圧倒的な優位に立てる…

### 生成AI試される大学入試 専門家「筆記試験の再評価」(朝日新聞 2023.7.6)

大学入試研究が専門の東北大学の倉元直樹教授は「大学の公式な指針はまだあまり見えてこないが、各大学の入試担当者は頭を悩ませている」と話す。…倉元教授によると国が大学入試の多様化を推し進める中、大学の間では手間のかかる面接ではなく、書類審査を重視する流れが強かった。…生成AIの登場で、受験生本人の力がこれまで以上にはかたにくくなると、書類に頼る選抜は壊滅的なことになる可能性がある」と公平性の問題が生じにくい伝統的な筆記試験が再評価されるかもしれないとも指摘。「選抜の文化がまた大きく変わるかもしれない」と話す。

## \*進路実現に向けての重点目標 夏休み\*

- 3年：受験の方針を確認して準備を進めよう。勝負の夏、計画を立て、粘り強く。一步上を目指そう。
- 2年：学問分野・専門分野について学び関心を深めよう。オープンキャンパスなどに行ってみよう。
- 1年：将来自分が進む道を考えながら、文理選択・コース選択をしよう。

## 進路に関する取り組みの予定(7~9月)

- ◆全学年 7月21日(金)~24日(月) 三者懇談会  
7月21日(金)~8月上旬 8月21日(月)~25日(金) 夏季補習※期間等学年・コースにより異なる
- ◆3年生 7月25日(火) 就職希望者進路ガイダンス 8月2日(水) 就職先希望調査提出  
8月21日(月) 指定校推薦大学等の一覧発表 9月4日(月) 実力診断テスト[進総・特進A]  
9月5日(火) 就職応募開始 9月9日(土) 共通テスト模試
- ◆1・2年 9月4日(月) スタディサポートテスト

## 1・2年生へメッセージ 夏休みを迎えるにあたって「達成感とは？」進路指導部より

私の高校時代の夏休みの思い出について、書きたいと思います。私の通っていた北海道の高校は、道内を中心に全国各地から生徒が集まっているようなところで、したがって学期中は併設の学生寮で暮らす生徒が大半でした。部活動でのランニング中、津軽海峡をはさんだ向こう岸にうっすら浮かぶ下北半島を眺めるたび、実家に帰れる夏休みまであと何日と指折り数えていたものです。終業式を終え、列車や飛行機で銘々の地元へ散っていく(映画『ハリー・ポッター』各作のエンディングをイメージしてください)わけですが、それほどまでに楽しみにしていた実家での夏休み。朝7時に起きてランニングに行き、シャワーを浴びて朝食をとる。それからお昼まで勉強。昼食を食べつつTVドラマの再放送を見て、2時からまた机に向かう。暗くなったら筋トレと素振りをして、夕食後はのんびり過ごして12時には寝る、という1か月間でした。

え？それが思い出？普段と変わらなくていい？と思ったことでしょうか。でもね、実際にそんな夏休みを過ごした本人からしてみれば、「毎日~km走る」「~時間以上勉強する」という目標を達成した、という素敵な思い出のひとつです。夏休みという、自由に過ごせる期間だからこそ、自分にルールや目標を課すことはとても大事です。そんなに大層なものなくていい。「土日以外は必ず〇時までに起きる」「最低〇時間は机に向かう(その間は絶対にスマホを見ない!)」「オープンキャンパスに〇校参加」これぐらいなら達成できるかなという範囲で、けれどそれをやりきった暁には達成感が得られるような、いまの自分より少し背伸びしたくらい目標を今日中に立て、そして明日からの夏休みを迎えてください。見事クリアできた暁には、その経験が自信となり、きっと未来の自分を支えてくれることでしょう。1か月後、より成長したみなさんの笑顔にまた出会えることを楽しみにしています。(進路係出口)

## 6月実施 進路希望調査結果 3年進路希望動向・各学年学問分野別の希望動向

今年度3年生の進路希望動向と昨年度の進路先		2年 252名		1年 265名	
6月実施の進路希望調査の第1志望より					
集計数 303名	卒業生 319名	1	社会科学	人文科学	20.2%
【現3年生進路希望】	昨年度進路先	2	人文科学	教育系統	13.2%
国公立大学 23名 (7.6%)	4名 (1.3%)	3	教育系統	社会科学	9.4%
私立大学 199名 (65.7%)	228名 (71.5%)	4	芸術系統	芸術・総合	各7.9%
短期大学 9名 (3.0%)	20名 (6.3%)	5	情報	理学7.5	
専門学校 54名 (17.8%)	49名 (15.4%)			医技6.0	
専門職大学 0名 (0.0%)	2名 (0.6%)			情報5.7	
企業就職 11名 (3.6%)	6名 (1.9%)				
公務員 0名 (0.0%)	0名 (0.0%)				
その他・未定 7名 (2.3%)	10名 (3.1%)				

## 「進路の手引き」受験型に注意して、先輩の「合格体験記」を読もう【裏面】

右の表は、神戸野田高校の「受験型別合格者数・合格率の推移(大学・短大)」です。上段が合格者数、下段が合格率です。近年は少子化の影響などから大学や短大、専門学校が、入学者を確保するために、様々な受験方式を取り入れています。

全国的にも受験生は早期に決めようとする傾向が見られますが、人に左右されず、自分の特性や強みをよく理解し、主体的に受験方法を選択判断し、実力を発揮して合格することが大切です。また、受験勉強を続ける中で、学力は必ず向上します。早期に妥協するのではなく、最後まで諦めず、何度でもチャレンジすることが大切です。

受験型	2021年	2022年	2023年
総合型選抜(IBAO入試)	89	81	65
学校推薦型(公募)	65.4	60.0	69.1
学校推薦型(指定校)	185	356	246
一般選抜(2月3月入試)	37.0	49.6	36.6
合計	99	77	90
(その他受験型含む)	100	100	100
	152	110	188
	24.2	19.7	24.3
	537	624	584
	39.1	41.9	37.4

2023年(昨年度)総合型選抜の合格率アップ  
一般選抜合格者増加：一般で第1志望校にチャレンジ多数

## 「令和5年度 進路の手引き」受験型に注意して、先輩の「合格体験記」を読もう（「令和4・3年度 進路の手引き」含む）

### 神戸芸術工科大学 合格〔総合型選抜〕 令和4年度 進学総合卒業

アート・クラフト学科に合格。私には美術教師になるという夢があり、その目標を実現するために1年生の頃から芸術大学を調べ、この大学に決めました。指定校推薦も考えましたが、先生と相談し、総合型選抜の作品持参型で受験することにしました。私は美術部に入り、作品制作に励みましたが、皆さんの多くが想像するようなデッサンや油絵はまったくやりませんでした。その代わり、切り絵や砂絵、サンドブラストというガラス作品など、少し変わった技法の作品を多く制作し、幅広く色々な事をしてきたことを強みにしました。さらに、この大学では、経験の有無に関わらず基礎からしっかり学べるため、このことを志望理由の1つにし、プラスになるようにしました。

作品以外にも力を入れた事はたくさんあります。勉強面では積極的に楽しんで授業を受ける事で、定期考査でコース1位を取ることができ、毎回それを目標にしてモチベーションを上げてきました。志望理由書は、2年生の志望理由書模試の時に現代文の先生に添削していただいた文章をベースにし書いていきました。面接練習は、学校で行うとともに中学校の恩師にもしていただきました。デッサンや絵が苦手でも他の得意な技法があるなら、それを強みにすれば大丈夫です。そして勉強面や生活面も手を抜かず、先生方の助言や良い機会（学校外の縁など）を無駄にせず、存分に活かしてください。何事も自分に合った方法でやるのが大切です。

### 関西外国語大学 外国語学部 合格〔学校推薦型選抜・指定校制〕 令和4年度 進学総合卒業

私がこの進路を決定したのは、中学校の挫折が理由でした。私は高校受験の時、自分の望む進路ではありませんでした。その悔しさをバネに3年間頑張ってきました。一番大切なことは、日頃からの積み重ねです。特に私は定期テストに力を入れていました。試験の1か月前から勉強を始め、ワーク5周を目処に努力しました。もちろん一人で勉強することも大切ですが、その教科が得意な人に質問し、自分の言葉でまとめることが一番結果に繋がったと思います。また、進路に必要な検定取得にも力を入れました。日々過去問を3回解くことをノルマとし、ライティング力がついたと思います。しかし、リスニングが苦手だったので、放課後に残り先生にどこを重点的に聞くべきかを教えて頂きながら、苦手分野を少しでも取れるように意識しました。その結果、英検のリスニングでは高得点が取れることができました。この2つの経験から、分らないところは恥ずかしがらず質問し、苦手だからと言い訳せず、自分のできる最大限の努力をすることが大切だと気がきました。

今、勉強が苦手です。やりたくないと思っている1・2年生もいると思いますが、必ず結果がついてくるので、頑張ってください。

### 甲南女子大学 人間科学部 合格〔学校推薦型選抜・公募制〕 令和4年度 進学総合卒業

私は文化社会学科に公募制推薦で合格しました。高校3年になり進路を考えなくてはいけない時期になったのですが、行きたい大学、学科が見つかりませんでした。そこで私は校舎の綺麗な大学に行きたいという単純な理由で複数の大学に絞りました。ですが、大学が決まっても学科が決まらないという時に、担任の先生が私の趣味に関わるような学科を勧めてくれました。そこから私の受験生活が始まりました。

公募制推薦は学校の成績と当日の試験で合否が出ます。学校の成績は問題なかったのですが、資格が英検3級だけしか持ってなくて、このままでは当日の試験で周りよりも多く点数を取らなければならなくなります。そこで、まず英検準2級を取ろうと決めました。英語が苦手だったので、準2級を取るために、単語を覚えたり、文法の基礎を確認したりと、一から始め、基礎が何も身につけていない状態だったので、個別指導をしていただきました。また、担任の先生に面接の練習を手伝ってもらいました。夏休みに入ると朝から夜まで学校に来て勉強の日々でした。私は高校受験で失敗しているので、また同じ失敗をしてしまったらどうしようという不安があったのですが、先生や友達に励ましてもらい無事合格できました。

ここまで努力してきた自分を信じて受験しました。試験後は落ちたかもしれないという気持ちもあったけど、合格していたので努力は裏切らないと思いました。

### 神戸学院大学 人文学部 合格〔学校推薦型・公募制〕 令和4年度 進学総合卒業

私は人文学部人文学科に合格することができました。この大学に合格できた要因は2つあると考えています。

1つ目は、ありきたりですが積極的に勉強し受験への意識を高めることです。確かに勉強したことがどれだけ覚えられているのかということは受験において非常に重要だと思います。ですが、まずは勉強するということを当たり前にし、自分が受験生であるという自覚を持つことが大切です。それを教えてくれたのは、ある英語の先生でした。その先生はお忙しい中、朝早くから放課後の遅くまで親身に勉強を教えてくださいました。英語の長文や文法のプリントのみならず、他教科への指導も徹底してくださいました。本当に感謝してもしきれません。

2つ目は、精神的な不安を隠さず話すということです。受験勉強の期間は、普段気にならないようなところでストレスが溜まってきます。周りの友達が合格し受験が終わっている中、自分はこのままの勉強量で良いのか、本当に受かるのか、不安や葛藤を抱え込んでしまいます。そんな時は誰でも良いので周りの人に相談しましょう。実際、私も先生方や友人達に何度も背中を押してもらいました。受験当日も色々な人達の支えの言葉を胸に乗り越えることができました。忘れないで欲しいのは、受験は一人で乗り越える必要はないということです。不安に襲われている時は周りを頼り、不安を自信に変えることが重要です。

### 兵庫大学 看護学部 合格〔学校推薦型選抜・公募制〕 令和4年度 特進卒業

「看護師になりたい。」その思いを強く持ち続けた結果、志望校、志望学部に合格しました。この進路に向けて本格的に受験勉強を始めたのは高3の春です。学校推薦型で受験するために、1学期の定期考査や提出物等に力を入れ、成績を上げること、毎回の模試での結果を良くすることに専念しました。しかし、定期考査は教科によって点数の差があり、模試の結果も悪かったです。どちらのテストも英語が足を引っ張っていると分析し、英語に力を入れました。主に文法の使い方や長文の速読、単語の暗記を重点的に取り組みました。

参考書や授業ノート、教科書等を隅々まで目を通し、分からない箇所が出てきた場合には、学校の先生や塾の先生、友達に聞いて解決するまで、とことん追究しました。それらを継続的にしていくうちに、英語の成績が伸び始め、評定も上げることが出来ました。受験日が近づくにつれ、不安と緊張が募りながら当日を迎えました。

公募制前期・中期とも看護学部以外の学部も受験しましたが、看護学部だけ不合格となり、精神的にもかなり辛く、「どんなに勉強しても無理なのか」と後期は看護学部を受験せず、他の合格した学部で気になる学部があったため、その道で頑張ろうと思っていましたが、親からの「その違う道で後悔しないね」という言葉が響き、最後のチャンスを諦めずに受験すると決意しました。その結果、看護学部合格することが出来ました。

### 同志社大学 政策学部 合格〔一般選抜〕 令和3年度 特進卒業（「令和4年度 進路の手引き」）

二年の初めの休校期間、毎日家事も仕事も手を抜かない親を見て、私も何か頑張ろうと勉強を始めました。とりあえず上を目指しておこうと同志社大学を志望校にしました。はじめは勉強時間は少なかったけれど、二年の終わりには勉強習慣がつかしました。三年になり部活動を引退した6月頃に受験勉強に本腰を入れました。学校では隙間時間に単語を見て、夏休みは毎日10時間、英語を重点的にしました。一番好きな日本史は夏休みからと遅くに始めました。人と勉強時間を競うアプリや様々な勉強法を調べたりしました。10月頃に初めて過去問を解き始め、解いたものは記録し、解き直しは絶対にしていました。合格最低点を初めて超えたのは入試の2週間前の数回だったのでどの教科も必ず伸びるし、気持ち次第です。

高3は勉強漬けでしたが、一度も辛いと感せず毎日楽しく快適に勉強に励むことができたのはあたたかい家族、たくさん学ばせてくださった先生方、一緒に勉強してくれる友人、ますます強くなる後輩がいたからです。特に今まで育ててくれた親のために絶対合格したいと強く思い最後まで前進できました。何事にも感謝の気持ちを忘れず、計画を立てて努力することは今後も続けていきたいです。

### 京都府立大学 公共政策学部 合格〔一般選抜〕 令和3年度 特進卒業（「令和4年度 進路の手引き」）

①勉強方法:まず志望校の試験方式と配点を知ってください。苦手かつ配点が高い教科は早めに対策を始めましょう。私の場合は、共通テストで点数の取りにくい地理が200点満点換算、苦手な数学が100点満点だったのでその2教科をメインに取り組みました。「まだ志望校が決まってない」という人は各教科の基礎を勉強しておきましょう。英単語やイディオム、数学の公式、漢字などです。よほど変わった問題しか出ないような大学じゃない限り役立ちます。

②評定:評定を気にしたことはありますか？公募推薦入試の応募条件に評定平均が含まれる大学はけっこう多いです。評定平均が高いとより多くの大学を受験できます。また、大学によっては一般入試でも評定をテストの点数に入れる大学もあります。定期試験や小テストで良い点数を取り、提出物もしっかり出しましょう。

③自己管理:受験生は精神面、肉体面ともに自己管理が大切です。私立大学の受験だと3日間連続で受験ということもあるので早い段階から体力をつけておくとう良いです。普段の体育だけでは意外と足りないです。特にインドア派の方は適度な運動をしましょう。私は気分転換を兼ねて散歩をしていました。精神面では、適度に息抜きをしてください。

### 大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類 合格〔学校推薦型選抜・公募制〕 令和2年度特進卒業

#### （「令和3年度 進路の手引き」）

私が推薦入試に向けて本格的に準備し始めたのは、3年生の夏でした。最初に取り掛かったのは志望理由書の作成です。私は、今までの経験や資格などのポイントごとにまとめ、大まかな流れを書いてから文章を構成していきました。また、何度も先生方に添削していただくことで、より良い志望理由書を書くことができました。志望理由書を書く際には、自分自身の経験だけでなく、なぜその夢を目指しているのかや、なぜその大学に入学したいのかを改めて深く考える必要があります。また、児童福祉についての知識を深めるために貧困問題についての書籍を読み、実際に子ども食堂取材に行きました。小論文対策では大学の過去問を中心に、何度も繰り返し小論文を書いて先生に添削していただきました。面接は、複数の先生方に練習していただくことで、自分が答えられないところが明確になり、その部分について調べ、もう一度熟考してまとめることができました。

最後に、受験に向けて最も大切なことは、日々の努力と何事にも積極的に挑戦することです。普段の授業や課題、定期テストにコツコツと取り組むことが3年間で大きな力となり、高校生のうちに経験したボランティアなどは、受験だけでなく将来にもきつと役立つと思います。